

構造本数 7本燃共心鋼索 7×2.67 mm ϕ ,
 直径 8mm, 強度 150kg/mm²
 自重 1460kg, 満載重量 2760kg,
 車輪数 8箇, 定員 21名(車掌共)。
 巻揚器
 常用電動機 85HP600r.p.m. 予備電動 35HP,

機予備機関, ガソリン機関 35HP,
 回転速度 3.6m/sec,
 所要電力 1回転につき 3.1kw。
 回転回数
 1日平均20回, 但し最大60回のことあり。暴風雨時は回転休止。

文献紹介

戦後、本誌上に於て専ら外国文献の主要題目を逐次紹介して来たが、会員諸氏の要望もあり本号より国内文献もそれに含ませ茲に文献紹介の欄を設けることにした。諸兄の御声援を乞う。(編集部)

鉄道業務研究資料

第6巻 第1号 (昭和24年6月)

内山実 短柱類似法による不静定構造物の計算
 安積健次郎 鋼材の熱処理により生ずる組織変化の磁氣的測定(抄報)
 喜多信之機関車用としての紙質炭の利用に関する研究の内亞炭の研究

建設省土木研究所概報

第6号, 凍上現象に関する研究(昭和24年3月), 谷藤正三, 小川哲夫
 第7号, 商工省機械試験所自動車試験道路の設計報告, 其の1コンクリート舗装の設計(昭和24年3月) 谷藤正三, 井上静三
 第8号, 熊野川に於ける堰堤予定地点並にその貯水地域に就いての地質調査報告(第1報—小鹿地点に関して)(昭和24年3月), 小野寺透, 柳治一, 新谷録三
 第9号, 同上(第2報—北山川, 十津川, 川原樋川) 筋候補地点に就いて(昭和24年3月), 小野寺透, 柳治一, 新谷録三, 工藤慎一, 芥川眞知, 今西術也

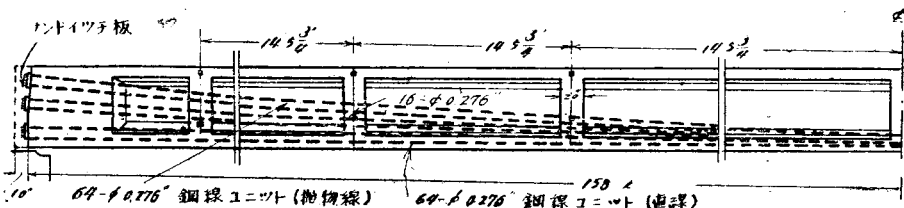
(31頁より)

第10号, 長野縣茶臼山附近の地亡に関する研究(1)(昭和24年3月), 小野寺透, 芥川眞知, 柳治一, 新谷録三
 第11号, 現場に於て考慮すべきコンクリートのウォーカビリチーに就いて(昭和24年3月); 山田順治, 清水道貞, 磯崎正晴
 第11号, 那珂川の洪水を地下貯溜により調節するための調査, (昭和24年3月);

建設省土木研究所概報

第5号, 自大正14年3月至昭和24年3月刊行図書目録(昭和24年3月)
 第6号, 最近に於けるエタニット, パイプの強度試験(昭和24年8月); 猪瀬寧雄, 堀米昇
 第7号, 戦後に於ける各種セメントの物理的性質に就て(第3報)(昭和24年5月) 山田順治, 清水道眞
 第8号, 小名浜港の遮蔽に関する実験(昭和24年8月); 佐藤清一, 柄沢郡治
 第9号, 流速計係数検定成績に関する報告(第3報)(昭和24年8月); 松井茂

圖一—2



定し、この板を桁の端部にグラウトで更に固定する。
 この様にして、製作した桁は重量約150ton(スパン160'のもの)で、施工は50'の橋脚上で行われた。1度に1~2箇の桁を製作し、出来次第側方に移動して正常の位置に配置した。並列した桁は、側方にも鋼線で結び、プレストレスを與え、全部が一体となつて働く様に工夫されている。

結局、これらのプレストレス方式の採用によつて、工費が約30%節約出来るとして、今後アメリカに於て広く應用される状況になつて、戦後に於けるヨーロッパの、この方式の興達と共にプレストレス方式は、プリキャスト方式、施工の機械化と相まつて、コンクリート工事の新らしい研究分野となりつゝあるように思われる。(磯崎正晴)

Proc. of A.S.C.E

1949
July.

Stream Flow Variability; *E. W. Lane & Kai Lei*. End Restraints on Truss Members; *Harold E. Wessman & Thomas C. Kavanagh*.
Water Supply Engineering; Report of the Committee on Water Supply Engineering of the Sanitary Engineering Division for the Two Years Ending December 31, 1948.

Civil Engineering

1949

Army Engineers Save Summit Bridge; *F.F. Frech*.
Phoenix Reconstructs Its Sky Harbor Airport; *Walter Johannessen*.
Philippines Initiate Program of Hydroelectric Construction; *Filimon C. Rodriguez*.
Dutch Side-Haul Railway Drydock Speeds Assembly of Prefabricated Barges; *J. Stuart C. C-randall*.
Milwaukee Takes Long-Range View of Urban Highway Needs; *Charles E. DeLew & William R. McConochie*.
Construction Starts on Prestressed Concrete Bridge in Philadelphia; *E.R. Schofield*.
Large-Diameter Steel Pipe Replaces Power Flume; *T.A. Fertron*.
Many Openings in Factory Floor Lead to Choice

of Flat-Slab Construction; *Walter H. Wheeler*.

Tungsten Carbide Core Bits Expedite Subsurface Explorations in Canal Zone; *Thomas F. Thompson*.
Slide Rule Simplifies Open-Channel Computations; *Christian W. Matthews*.
Solution Presented for Trapezoidal Loading on Beams; *Elihu Geer*.

Aug.

Mexico Builds Irrigation Dams to Suit Local Conditions; *J. Vicente Orozco*.

How Many and What Kind of Engineering Graduates Are Needed?; *Charles B. Molineaux, H. W. Case, W.P. Wallace, & L.M.K. Boelter*.

Special Foundations Support Mexico City Buildings on Highly Compressible Clay; *Pedro Albin, Jr.*
Water Resources-Mexico's No.1 Problem-Holds Spotlight in Technical Sessions at Summer Convention.

Service Recoysd Justifies Choice of Francis Unit for Mexican Installation; *R. B. Willi & W. R. MacNamee*.

Steel for Tunnel Ventilating Shaft Is Erected from Top Down; *Ralph Smillie*.

Chicago's Newest and Heaviest Bascule.

Drive-In Bank Does Brisk Business in Houston; *Cyril S. Adams*.

Open and Closed Channels Designed by Short Cut Method; *Francis Bates*.

月 例 講 演 会

2月の月例講演会を次の通り開催いたします。講演者を中心に膝を交えてなごやかに行いたいと思いますから、お誘い合せの上会員各位の多数御参加を希望いたします。

(研究連絡部)

日 時	昭和 25 年 2 月 21 日 (火)	午後 1 時 30 分
場 所	文京区駒込上富士前町 建設省土木研究所講堂	
講演題目	(1) 海岸の漂沙について(第1報)	永井 莊七郎 (20分) 松 江 二 郎
	(2) 薄層流に関する2.3の問題	石原 藤次郎 (30分)

第 5 回 年 次 学 術 講 演 集 について

さきに予約希望者を募りましたが非常に数が少いため出版の見通しがたちません。つきましてはまことに恐れ入りますが、発表をお急ぎの方は学会誌または論文集に改めて御投稿下さいませ願いたします。

(編 集 部)